

—— 自動車の窓ガラスに貼ることで日射熱や紫外線をカット ——

高透明タイプの遮熱フィルム新アイテムを追加

フロントガラスにも貼付可能で遮熱性能も向上。車内の暑さ対策に貢献

リンテックは車内の暑さ対策として、高い透明性を保ちながら遮熱性能の向上を実現した「IR-85HD」を新たにラインアップ。多彩な機能性とデザイン性を兼ね備えた自動車用ウインドーフィルム「ウインコス オートモーティブフィルム」シリーズの新アイテムとして、8月26日から販売を開始します。

ウインドーフィルムでプライバシー保護から暑さ対策まで

自動車用ウインドーフィルムは従来、車外からの視線をカットするプライバシー保護やデザイン性の観点などから後部座席の窓ガラスに貼る濃色タイプが主流でしたが、近年、夏の厳しい暑さへの対策として透明タイプの遮熱フィルムが注目されています。当社はこれまで、高い透明性を保ちながら日射熱や紫外線をカットする「IR-90HD」を展開してきましたが、このたび近赤外線*1カット率を約15%向上させ、より遮熱性能を高めた透明タイプの新アイテム「IR-85HD」をラインアップします。



高い透明性を保ちながら日射熱をカット

高い透明性でフロントガラスにも貼付可能

今回発売するのは、フロントガラス(前面ガラス)にも貼付可能*2な高い透明性を保ちながら、暑さの原因といわれる近赤外線を約85%カットする自動車用ウインドーフィルムの新アイテムです。さらに、人体に有害とされる紫外線を99%以上カット。ガラスが破損した際に破片の飛散を低減する効果も併せ持ちます。

フロントガラスは安全上の理由から、透過する光の割合を示す可視光線透過率が70%以上必要であることが道路運送車両法で定められていますが、新アイテムはそれに対応した可視光線透過率を実現。フロントガラスにも貼付可能で、車内全体の暑さ対策に貢献します。当社は今後も、自動車用ウインドーフィルムの有用性をより多くの方に実感していただけるよう、提案を強化していきます。

*1 近赤外線領域:780nm~2,500nm

*2 本製品には約89%の可視光線透過率がありますが、窓ガラスに貼付した後の可視光線透過率70%以上を保証するものではありません。



フロントガラスにも貼付可能

ウインドーフィルム特設ウェブサイト



ウインドーフィルムを施工した方の体験記などを御覧いただけます

<https://www.wincos-pr.com/>

■製品に関するお問い合わせ

リンテック株式会社 産業工材事業部門 建装工材営業部 モビリティグループ
〒112-0002 東京都文京区小石川1-1-1 文京ガーデン ゲートタワー8F TEL.(03)3868-7732 FAX.(03)3868-7755
<https://www.lintec.co.jp/>

■リリース内容に関する報道関係者の方からのお問い合わせ

リンテック株式会社 広報・IR室
〒173-0001 東京都板橋区本町23-23 TEL.(03)5248-7741 FAX.(03)5248-7754 担当:高津、野中
本リリースに使用している写真データは、<https://www.lintec.co.jp/pub/>からダウンロードしていただけます。

<補足資料>

自動車用ウインドーフィルム「ウインコス オートモーティブフィルム」製品概要

■特徴

○太陽光の熱エネルギーや紫外線を大幅にカット

目に見えない近赤外線波長領域を中心に、太陽光の熱エネルギーを大幅にカット。さらに、人体に有害とされる紫外線も99%以上カットするなど、安全かつ快適な車内空間づくりに貢献します。

○自動車の品位を高めるデザイン性を実現

高透明タイプに加え、上品で高級感のある色合いやメタリック感などのデザイン性を実現したアイテムも豊富にラインアップ。自動車の持つ美しいフォルムをさらに引き立たせ、品位を高めます。

○ガラス飛散防止効果や優れた施工性を発揮

ガラス破損時の破片の飛散防止効果や優れた施工性、車内からの良好な視界を保ちつつ、車外からの視線をカットするプライバシー保護効果(濃色フィルムのみ)など、多くの機能を兼ね備えた高品質な製品です。

新アイテム「IR-85HD」製品概要 (従来品「IR-90HD」との比較)

■光学特性

	可視光線*		紫外線透過率*	日射*			遮蔽係数*	熱貫流率* (W/m ² K)	近赤外線カット率(%)
	透過率(%)	反射率(%)		透過率(%)	反射率(%)	吸収率(%)			
IR-85HD	89	9	<1	63	8	29	0.80	5.8	85
IR-90HD	90	9	<1	71	8	21	0.89	5.9	70
3mmフロートガラス	91	7	65	85	8	7	1.00	6.0	19

*自動車窓ガラス用フィルム JIS S 3107:2013 に準拠

※遮蔽係数とは、太陽光線の車内への流入熱量を表す相対値で、3mmフロートガラスを1.00とし、ガラスに各フィルムを貼ったときの数値です。

※熱貫流率とは、3mmフロートガラス(フィルム貼付時)の両側の空気温度差が1℃のとき、1㎡当たり1時間に伝わる熱量を示した数値です。

※近赤外線カット率は当社独自の測定方法により、780nm～2,500nmの波長における透過率の平均値を100%から引いたものを数値としています。

※データの数値については実測値であり、保証値ではありません。

■販売開始日 2024年8月26日

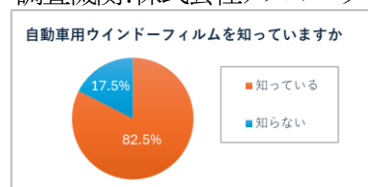
|| 自動車用ウインドーフィルムに対する意識調査

【調査概要】 調査期間:2024年2月 / 調査対象:男女各100人(計200人) / 調査機関:株式会社アスマーク

○自動車用ウインドーフィルムを知っていますか。

知っている:165人、知らない:35人

全体の17.5%、女性では25%が知らないと回答しました。



○自動車用ウインドーフィルムが紫外線対策や車内の暑さ対策に効果があることを知っていますか。

紫外線対策・暑さ対策になることの両方を知っている:42.5%、紫外線対策になることだけは知っている:14.5%、暑さ対策になることだけは知っている:3.5%

○自動車の買い替え時にもまたフィルムを貼りたいと思いますか(現在、自家用車に貼っていると答えた26人の回答)。

とてもそう思う:84.6%、ややそう思う:11.5%と、現在貼っているユーザーは満足度が高い結果となりました。

意識調査を行った結果、自動車用ウインドーフィルムやその効果について知らない方も多い一方、一度フィルムを貼ったユーザーは95%以上がまた貼りたいと回答したことから、当社は今後もより多くの方にその効果を実感していただけるよう、提案を強化していく考えです。